



長尾福祉会報

令和3年10月1日

第44号

東京2020パラリンピック

超えろ、みんなで。

大山市長様がパラリンピックの聖火
トーチを持って来園され、ご利用者
との交流を図りました。(8月13日)

ー長尾福祉会理念ー

障害をもっているも っていないくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

多様性の下での福祉とは

当法人の障害者支援施設のぞみ園も開園 25 周年を迎えました。我々もこの四半世紀における障がい者の権利や福祉を取り巻く考え方、そして制度の変遷と共に邁進してきました。そして、これからは多様性というキーワードの中で価値観の議論や制度やルールが定められていく時代に突入していくのではと考えます。デジタル技術の進化も生活全般が便利になる反面、対応できないと生活がしづらくなる人が増えるのも事実です。このことから、一方の価値観で既存の価値観が過剰に制限されたり賞賛されたり、SNSの普及とも相まって新たな人格や権利侵害が起こることがないことを願うしだいです。

さて、今年は昨年から延期になっていた東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されました。パラリンピックでは表紙にあるようなトーチが園に届き、利用者とともにパラリンピックの開催を、ささやかですがお祝いをいたしました。今までのように「盛大に祝賀ムードで」という訳にはいきませんでした。むしろお祭りのような喧噪がなかったことで、競技のテレビ観戦に集中できたように思います。今回の大会は多様性も重視されるとともにアスリート一人ひとりの競技に至った背景や、血のにじむような努力がクローズアップされる場面も多く、改めて目標や夢を持つ力や反骨心からくるパワーの無限さを思い知らされた気がします。このアナログの究極であるアスリートの心と体、さらには意地がぶつかり合うオリンピック・パラリンピックの清々しさと感動、そして何よりも人間一人ひとりの尊さを忘れず新たな福祉課題へ立ち向かっていきたいと思っています。

社会福祉法人長尾福祉会 理事長 森田 浩之

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

のぞみ園

お花見

桜の木の下で

生活支援員 七條 麻紀

陽気に包まれた4月2日、のぞみ園では、お花見を行いました。今年は桜の木の近くで三種のからあげ弁当を食べました。利用者さんも、お花見を楽しみにされていた様子でお弁当を食べながら桜吹雪を眺めていました。又、道沿いにある桜並木を散歩しながら、お花見を楽しまれている方もいました。春の訪れを五感で感じ、楽しんでもらえた一日となりました。



女子寮

女子寮ボーリング大会

生活支援員 植松 初代

「ボーリングしたいなあ」とつぶやかれた利用者さんの声を聞き、女子寮内で楽しめるボーリング大会を行いました。ペットボトルをピンに見立てて、ソフトボールを転がして10ゲームを投げ抜き、ピンを倒した合計で勝負しました。景品やメダルも用意され、皆さん真剣な表情で熱戦を繰り広げました。楽しく体を動かしながら、心弾む時間を過ごすことができました。



男子寮

楽しい活動記録

生活支援員 山田 和広

コロナ禍での外出自粛以来、利用者さんの行事も限定される事が多くなっています。

利用者さんに楽しい生活を提供したいという思いから日替わり余暇の充実を図りました。

運動面では新たに桜や紫陽花、新葉から紅葉といった季節の流れを感じられる自然豊かな散歩コースを作りました。

生活面では定期的にテイクアウトを利用して食事で美味しいお弁当やスイーツ等も食べられ、皆さん大変喜ばれていました。



南寮

美味しい食事、感じる初夏

生活支援員 間島 義博

南寮は毎月、テイクアウト昼食を楽しんでいます。天気の良い日は庭で食べたり、普段と違ったメニューや環境での食事に皆さん喜ばれています。

又、暑い日にはプールを準備し利用者の皆さんで水遊びも楽しみました。毎月のテイクアウト昼食や暑い時期のプールなど、変化を楽しみにされている利用者さんも多いので今後も喜ばれる活動を計画し提供していきたいと思っています。



さぬき市委託作業

作業指導員 田中 歩

就労B



就労支援B型で取り組んでいる作業の一つに、市から委託を受け行っている津田小学校通学路補修作業があります。この作業は舗装されておらずでこぼこになった道に土を運び平らに踏み固めていく作業です。男性利用者が作業に取り組まれ力作業を頑張っていました。作業後、学校の先生方に「ありがとう」と声をかけてもらおうと笑顔もみられ、やりがいを感じている様子が見受けられました。

今後地域貢献の機会を大切に、継続して取り組んでいきたいと思っています。



キッチンカー

キッチンカーがやってきた

生活支援員 木村 佳央

5月中旬、のぞみ園にキッチンカーがやってきました。前回は甘いクレープ、今回はフライドポテトのキッチンカーです。オープンすると皆さんランチボックスに入ったフライドポテトと手作りレモネードを受け取り嬉しそうでした。とても美味しく楽しい会となりました。



園芸活動



美味しい野菜、育てています

生活支援員 溝淵 信一

園芸活動として外のベランダスペースを活用し、季節の野菜作りを利用者さんと共にしています。

7月にナス、ミニトマト、オクラ、きゅうりの植え付け、栽培、収穫までを余暇活動に取り入れ、利用者さんと一緒に行いました。皆さん、収穫時は特に楽しまれています。

これからも、四季の野菜作りを通じ、育てる楽しさや収穫の喜びを味わえる園芸活動を続けていきたいと思っています。



児童デイサービス

コロナに負けず

元気いっぱい児童デイ

児童発達支援員 砂川 玲子

昨年春以来、コロナ禍にみまわれている中、児童デイでは日々子どもたちの健康・安全管理に配慮した活動を続けています。

登所時の手洗いとうがいの習慣化と、子どもたちの共通スペースであるプレイルームやトイレの消毒を毎日丁寧に行うことを続け、その上に不特定の子どもの手が触れる玩具・療育材等の衛生管理にも気を配っています。

放課後デイでは、個別な療育活動をやり遂げた後の自由あそびを、また、終日利用日には、子どもたちの思いに寄り添ったグループ活動をそれぞれ設定して、満たされた時間が過ごせるよう、職員一同知恵を絞っています。



ゆたか荘

納涼夏祭り

2階介護職員 唐渡 綾乃

8月22日に毎年恒例の夏のイベント、納涼夏祭りを開催しご利用者の皆様に施設内で縁日気分を味わっていただきました。

当日の昼食では、バザー券を作り屋台を出すなど、いつもと違う雰囲気味わう事ができました。また、仲の良いご利用者同士で『何食べる?』など相談しながら楽しんで参加されている様子も伺えました。催し物では『魚釣り』『的あて』『射的』『投影水族館』を行いました。

今回、私は初めて納涼夏祭りという大きな行事を担当し、計画や進行に悩む事もありましたが、他職員みんなの協力があり無事納涼夏祭りを終える事ができました。

コロナ禍で規模を縮小しての行事となりましたが、いつもと違う雰囲気を感じながら過ごす事ができ、また、ご利用者の楽しんでいる笑顔を見る事ができてとてもうれしく思う一日でした。



七夕祭り

2階介護職員 前田知寿香

7月7日は楽しみにしていた七夕祭りでした。この日のために皆でたくさん色とりどりの飾り作りを行い準備してきました。

当日は七夕の由来を説明した後、ご利用者と一緒に短冊に願い事を書き笹に括り付けたり、笹飾りをつけたりと皆さんとても真剣に参加していました。

また、今年は織姫と彦星のパネルを作り、ご利用者に顔をいれていただいたり、可愛く写真撮影もできました。

—皆さまの願い事が叶いますように☆—

手作りおやつ

介護副主任 齋藤 暢規

ゆたか荘では毎月1回ご利用者と共におやつを手作りしています。

皆さん毎回楽しみにしてくださっており、昔料理をしていた時の事など、思い出話をされながら楽しく参加されています。

季節に応じたおやつを『美味しい』と召し上がった様子を見ると、職員も嬉しく思うとともに、次回は『どんなものを作ろうか』とワクワクした気持ちにさせられます。

皆さまの喜ぶ笑顔が見られるようこれからも取り組んでいきたいと思っています。



職員紹介

1階介護職員 山下 達也

仕事と子育ての両立が目標です!

早いもので来年4月に入社10年目を迎えます。この10年で自分自身にも色々な事がありました。6月末には第2子が誕生し7月は1カ月間、育児の為に休みをいただきました。子育てに対し施設全体で理解いただけた事で妻のサポートができ、負担を少しでも減らせるよう、できる範囲ではありますが家事や育児等に参加する事ができました。

職場では年数も経ち中堅職員という立場にはありますが、今も先輩後輩に関わらず周りの職員の働きを見て勉強し、自分もまだまだ足りない部分が多くある事に日々気づかされています。

今後も多くの事を吸収し業務に活かしていきたい、公私共に充実した日々が送れたらと思います。



更なる資格取得でスキルアップ!

施設長 朝倉 裕子

安心して暮らしていただく為に

ご利用者の重度化に伴い、医療的なケアが必要なご利用者が増えており、介護職員にも高い技術が求められています。コロナ禍で外部研修が少なくなっており、希望者14名がオンラインで50時間の研修を受け、鼻腔・口腔吸引と胃瘻からの経管栄養が実施できる資格を取得しました。法人の資格取得支援があり、多くの方がスキルアップに臨みました。



デイサービスゆたか



コロナ禍のなかでも……

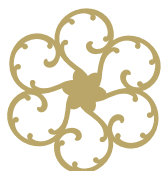
介護職員 長野 翔太

身近なところでも拡がりをみせているコロナウィルス感染症。
 まだまだ落ち着いた日常が続いています
 が、感染予防に取り組みながらデイサービスの運営を行っています。
 活動内容にも制限はありますが、そのなかでも笑顔多く前向きな姿勢で過ごされるご利用者の皆様にこちらも勇気づけられる毎日です。
 まだまだご不便かけながらの日々は続きますが、安全・安心の場を提供できるよう取り組んでいきたいと思っています。

高齢者複合施設

ハーティヴィラ亀鶴

デイサービスセンター



Hearty
Villa
KIKAKU

ハーティヴィラ 亀鶴

猛暑を乗り切ろう ～グリーンカーテンに挑戦！～

デイサービスセンター・ケアスタッフ 多田 明正

現在コロナ禍ということもあり家庭菜園がブームになっていると聞き、猛暑が予想された今年の夏、ハーティヴィラ亀鶴でもグリーンカーテンを作ろうと、玄関先でゴーヤの栽培に挑戦しました。

職員の多くはゴーヤの栽培知識に乏しく、インターネットで調べたり、ご利用者の皆さんのアドバイスを受たりしながら、苗の植え付けから四苦八苦しました。けれども、苦労しながら育てただけ愛情が湧き、成長を見守るのが日課となりました。

苗は2メートルを優に超えるまで伸び、カーテンの役割を十分に果たしてくれました。ゴーヤの実を、おなじみのゴーヤチャンプルーにしてみんなで味わったことは、今夏の思い出の一つとなりました。

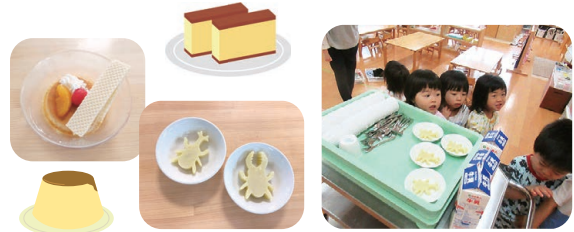


認定こども園 高松くりの木學舎

くり'sキッチン

管理栄養士 土居 七海

くり'sキッチンでは手作りおやつのお充実を目指し、おやつ作りに取り組んでいます。子どもたちに喜んでもらえるよう試作を重ね、カステラやプリンなど子どもたちの大好きなものはじめ、お好み焼きや芋羊羹といった野菜も一緒に摂れるおやつのパートリも増えてきました。また、喜んで食べてもらえるようなデコレーションや型抜きをして見た目も工夫しています。配膳に行く子どもたちは「今日のおやつなあに?」「見せて!」と興味津々に近寄ってきてくれるので、毎日おやつを楽しみにしていることが伝わり嬉しくなります。これからも栄養満点でワクワクするような楽しいおやつ作りをしていきたいと思います。



夏野菜ピザクッキング



主幹保育教諭 山口 あけみ

園庭のプランターで野菜を育てています。グループごとに育てたい野菜を決めて、植えて水やりなどの世話をしてきました。今回は収穫した野菜を使ってピザを作りました。生地から作る本格的なピザです。小麦粉、水、油などを混ぜ合わせることで生地になっていく過程に「生地が大きくなってきた」と驚きの声も聞かれました。生地をねかせている間に野菜を切っていました。様々な道具に触れる多くの経験から、包丁の使い方もとても上手になっていき、皆丁寧に切っていました。最後はピザの形を作り、生地をめん棒で伸ばしていきます。グループ活動で行ないましたが、順番にめん棒を使う、全員で一組にめん棒を使って生地を伸ばすなどそれぞれが話し合いながら進めていきました。生地の上に野菜やチーズをのせて完成です。焼きあがったピザを見た瞬間「うわー」と歓声も聞こえてきました。皆で協力して作った焼きあがったピザは格別に美味しく、苦手の野菜も嫌がることなく食べることが出来ました。

5歳児は毎月のクッキングを楽しみにしています。自分たちで作る喜びや、友だちと協力しながら作って行く過程を通して食育だけではなく、協同性や思考力の芽生えに繋がって欲しいと願っています。



くりのキッズ(一時預かり保育事業)

今年度から高松くりの木学舎で「くりのキッズ」がスタートしました。くりのキッズとは、一時預かり保育事業のことです。コロナ禍でまだ利用は少ないですが、転勤の多い高松の地ということで、実家が遠くなかなか帰れない・通院したいけれど子どもをみる人がいない・知人もない・ワンオペ育児でリフレッシュしたいけれどできない、というお母さんのお子さんを預かり、事前面談をして子どもたちが楽しく過ごせるようなおもちゃを用意したり給食を提供するなど頑張っています。

そんなくりのキッズの保育室に小さなくりの木の壁面飾りを作りました。利用してくれた子どもたちの名前を書いた栗の実を1つずつ貼っています。まだまだ栗の実はいませんが、栗の実がいっぱいに実ることを楽しみに新しい出会いを楽しみにしています。



お気に入りのホットスペース

れもん組リーダー(2歳児) 宮内 大子

2歳児れもん組です。空きロッカーや棚に入り込んだり、友だちとワイワイ遊んでいた子が、部屋の隅っこにあえて行く姿があったりしました。そこで、押し入れを開放し段ボールを設置し、一人になれる空間を作りました。箱の中にお気に入りのものを持ち込み寝転んだり、隅っこでじっくり絵本を見たり、気のあった友だちとまったりしながら、誰にも邪魔されない空間でセルフコントロールしていました。





認定こども園

長尾学舎



田植え

ぎんが組
(5歳児) 飯田 剛士

6月15日(火)、5歳児16名で田植えを行いました。田んぼの中へ足を踏み入れたと同時にうまく歩けなくなり、尻もちをつきそうになる子どもたち。ゆっくりと一足一足慎重に踏みしめながら水や泥の感触を感じていました。

初めは植えても浮かんでしまっ苗もありましたが、ひと苗ずつ丁寧に植えることで「先生、出来たー」「もっとやりたい!」と真剣な表情で取り組む姿が見られました。

その後は、隣の田んぼで楽しみにしていた泥んこ遊び。泥水に触れ、かけっこをしたり顔にメイクをする等元氣いっぱい声が響きました。

ご協力して下さった法人職員の皆様、有難うございました。



七夕会

たいよう組
(1歳児) 櫻根 桃香

6月頃から「たなばたさま」の歌を歌ったり短冊や飾りを作って飾り、7月7日を心待ちにしていた子どもたち。願い事を書く短冊の中には「〇〇が出来るようになりまように」「皆元氣に健康に過ごせまように」「等といったものもあり、心温まるものばかりでした。皆の願い叶うといいですね!

七夕会ではパネルシアターを見ながら七夕の由来について知った後、〇×ゲームを行い、最後に大きな天の川を全クラスの子どもたち皆で協力して製作しました。「あっちに貼った方がいいかな?」



と工夫して貼る姿もあり、完成した時は「つわあ!きれい!」「きらきら!」と嬉しそうに話していました。給食でもちらし寿司や天の川汁(そうめん)を食べ、楽しい1日を過ごすごとが出来ました。



夏祭り

主幹保育教諭 池田 麻美

7月21日(水)長尾学舎園内で夏祭りを開催しました。浴衣や甚平を着用し、いつもと違った雰囲気ワクワクドキドキの子どもたち。

祭りの初めは♪パインポー体操・♪もったいないばあさん音頭。うちわを使用し手拍子しながら踊る姿が見られました。「いらっしやいませ」「どれがいいですか?」と元氣いっぱいの声が飛び交い、まちに待ったお店屋さんが開店。「クレープがある!」と目を輝かせながら選んだり、小さな子どもたちに優しく品物を手渡すなど遊びの中で異年齢との交流を深めることができました。

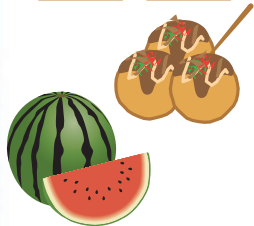
コロナウィルスの影響で今年度は保護者と一緒に開催することが難しかったです。夏の思い出をつくることができた素敵な1日になりました。



行事食

栄養士 中條 桃果

行事に合わせて、給食も特別メニューになります。今回は、夏祭りで園児たちが体験したお店屋さんごっここの余韻を給食でも楽しんでもほしくて屋台メニューを作りました。おやつのかき焼きはいつもと違って舟形に盛り付けて提供すると、園児たちからも「お祭りみたいだね」「いつもよりおいしいね」との声があり、給食は保育と食がつながる大切な機会だなど実感しました。これからも行事だけではなく日々の給食提供、食育指導などから園児の食育をサポートしていきたいと思ひます。



令和2年度の法人の経営状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

単位:千円

貸貸対照表(令和3年3月31日)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	450,268	流動負債	101,216
現金預金	287,445	事業未払金	17,804
事業未収金	162,223	設備資金借入金 (1年以内返済予定)	40,000
原材料	118	未払費用	897
立替金	426	職員預り金	0
仮払金	56	仮受金	1,515
固定資産	2,642,595	賞与引当金	41,000
基本財産	1,998,071	固定負債	428,978
土地	389,182	設備資金借入金	360,000
建物	1,608,889	退職給与引当金	68,978
その他の固定資産	644,524	負債の部合計	530,194
土地	17,000	純資産の部	
構築物	144,260	基本金	166,000
機械及び装置	32,292	国庫補助金等特別積立金	808,254
車輛運搬具	7,597	その他の積立金	270,095
器具及び備品	103,826	施設整備特別積立金	10,000
ソフトウェア	475	人件費積立金	10,000
退職給付金引当資産	32,207	修繕積立金	20,000
施設整備特別積立資産	10,000	備品等購入積立金	20,000
人件費積立資産	10,000	減価償却積立金	210,095
修繕費積立資産	20,000	退職積立金	0
備品等購入積立資産	20,000	次期繰越活動増減差額	1,318,320
減価償却積立資産	210,095	(うち当期活動増減差額)	△3,411
退職積立資産	36,772	純資産の部合計	2,562,669
資金の部合計	3,092,864	負債・純資産の部合計	3,092,864

法人単位の資金収支の状況

科 目	金 額
(1)事業活動資金収支差額	93,905
①事業活動収入 介護報酬、支援費収入、利用者負担金収入、その他収入など	1,268,025
②事業活動支出 人件費支出、事業費支出、その他支出など	1,174,120
(2)施設整備等資金収支差額	△47,818
①施設整備等収入 施設整備等補助金収入、設備資金借入金収入	4,880
②施設整備等支出 設備資金借入金元金償還金支出、固定資産取得支出	52,699
(3)その他の活動収支金収支差額	93
①その他の活動収支 積立資産取崩収入、事業区分間長期借入等	4,397
②その他の活動支出 積立資金積立支出、事業区分間長期貸付等	4,304
当期末資金収支差額	46,180
当期末支払資金残高	429,146

法人単位の事業活動の状況

科 目	金 額
(1)サービス活動増減差額	13,145
①サービス活動収益	1,254,614
②サービス活動費用	1,241,199
(2)サービス活動外増減差額	19,944
①サービス活動収益	34,778
②サービス活動費用	14,834
(3)特別増減差額	△36,771
①特別収益	4,880
②特別費用	41,651
当期活動増減差額	△3,411
前期繰越活動増減差額	1,304,503
当期末繰越活動増減差額	1,301,092
その他の積立金取崩額	38,230
その他の積立金積立額	21,002
次期繰越活動増減差額	1,318,320

さぬき市新型コロナウイルス
ワクチン集団接種における
市内社会福祉施設協力

7月・8月に行われた市内高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種において、香川思いやりネットワーク参画法人として当法人からも職員の派遣を行いました。ワクチン接種が迅速且つスムーズに行われるよう各専門職が参加し、ワクチンの希釈や予診票確認などを行いました。



の絵な
ぞ手の
紙花
み同
薬好
局会
様様

ご支援
ありがとうございます
ございました

編集後記

東京オリンピック・パラリンピック2020が幕を閉じ、実りの秋がやってきました。黄金色の稲穂が辺り一面に広がる光景は本当に美しいと感じます。育ててくれた農家の方、そして讃岐の自然の恵みに改めて感謝したいです。新米、最高！（亀鶴・寺島）

